

ニ用井ル事ヲ吾々ニ教ヘマス、又天然ノ倉庫ヲ開キテ吾々ニ新元素新事實新財源ヲ示シマス、此ク勞力ヲ省キ材料ヲ清純ニシマス、又吾々ノ暗夜ヲ照シ又ハ病体ノ苦痛ヲ治療シマス、又ハ吾々ニ眞理ノ研究ヲ示シマス、

借私ハ今迄電氣ノ一般ヲ諸君ニ話シマシタガ電氣ハ吾々皇陛下ノ即位ト全時ニ其水門ヲ開キマシテ今日迄技術者ノ開墾シタル田地ヘ灌漑ヲシテ居リマス、電氣學ハ今ハ一ノ専門科ニ過ギマセヌモ近キ内ニ一般ノ學門トナリマス、其事實條理學理實地ハ皆總テノ技術者ノ織緯トナリマシヤウ、故ニ如何ナル技術者モ電氣ヲ知ラテバナリマセヌ、電氣ハ最モ一般ニ最モ要用ニナリマシヤウ、又勢力ノ原則ヲ人間社會ノ必要ト幸福トニ應用スル最モ緊要ナルモノトナルニ相違アリマセン、

○ニカラグア兩洋連絡運河ノ實測

ニカラグア兩洋連絡運河ノ開鑿築造ノ尼加拉瓦

共和國ニ取リテ必要工事タルコトハ言フヲ埃タス其世界貿易業ニ大關係ヲ有スルコトハ識者ヲ埃チテ後知ラサル所ナリ左表ニ示ス計數ハ費府博物館ノ報告ニ係リ同運河設計ノ實數ヲ擧ケテ趣味アリトス

南洋間距離	一六九哩四	運河開鑿延長	二六哩八	溜池延長	二一哩六
サンロニアン河長	六四哩五	ニカラグア湖長	五六哩五	水閘ノ數	六所
運河中海面ヲ抜ク最高處	一一〇呎	運河ノ深	三〇呎	運河通過時間	二八時

○北米合衆國鐵道敷設

同國ニ於ケル鐵道敷設事業ハ千八百九十三年以來頓ニ萎縮シテ

運河築造費豫算一三二〇〇〇〇〇〇磅乃至一七六〇〇〇〇〇〇磅

振ハス一昨年ニ至ルマテハ一箇年ノ敷設線路二千哩ヲ超フルコトナカリシカ昨年ニ至リ稍  
 ヲ再興シ數年前ノ舊態ヲ回復シタルガ如シ即チ昨年中ノ敷設ニ係ル線路ハ三千十八哩餘ニ  
 シテ之ヲ一昨年ニ比スレハ千百三十八哩ノ増加ヲ見ル今千八百八十七年ヨリ昨年ニ至ル十  
 一年間ニ敷設セシ鐵道ノ哩數ヲ示セハ左ノ如シ

年次	哩數	年次	哩數	年次	哩數	
一八八七	一二、九八三	一八九〇	五、六七〇	一八九三	二、六三五	
一八八八	七、一〇六	一八九一	四、二八一	一八九四	一、九四九	
一八八九	五、二三〇	一八九二	四、一九二	一八九五	一、八〇三	
					一八九八	三、〇一六

昨年中ノ敷設ニ係ル鐵道線路中其最モ多キヲ占ムルハ南部及西南部諸州ニシテ太平洋沿岸  
 諸州之ニ亞ク就中ミテソタ州ノ如キハ二百五十哩ニシテ其主位ヲ占メテキサス州百八十三  
 哩ニシテ其次位ニ居ル

○英國ニ於ケル 滾罐破裂ノ數 英國商務院報告ニヨレハ千八百九十八年六月三十日ニ  
 終ル一ケ年間英國ニ於ケル 滾罐破裂ノ數ハ八十四回ニシテ之ニ依リテ生シタル死者三十七  
 人負傷者四十六人アリ之ヲ前年ニ比較スレハ左ノ如シ

年 度	回 數	死 者	負傷者	年 度	回 數	死 者	負傷者
一八八二—三	四五	三五	三三	一八九〇—一	七二	三二	六一
一八八三—四	四一	一八	六二	一八九一—二	八八	二三	八二
一八八四—五	四三	四〇	六二	一八九二—三	九二	二〇	三七